

23年度一般会計予算

町の個性と魅力を活かし、現在
持続可能で安心して暮らせる

平成23年度の町予算が3月に開催された第1回笠松町議会定例会で可決されました。

厳しい経済状況の中で、町の歳入は町税の大幅な増収が見込めない一方で、歳出は社会保障関連経費や公債費などの義務的経費が増加していることから、町財政を取り巻く環境は一段と厳しい状況です。そのため行財政改革推進プランの考えを踏襲しながら、中長期的な視点での「選択と集中」を明確にした予算の計画的な執行と健全な財政運営が求められています。

平成23年度は「清流木曽川に抱かれた“ひと・まち・自然”輝く創造文化都市」を将来像とする第5次総合計画がスタートします。町の個性と魅力を活かし、現在・過去・未来に責任が持てる持続可能で安心して暮らせるまちづくりを6つの基本方向に沿って進めていくために、特に「安心安全なまちづくり施策」「生活福祉の向上施策」「教育環境の充実施策」「魅力あるまちづくり施策」の4点を重点施策として編成しました。

新年度予算総額

単位：千円

会 計 名	平成23年度	平成22年度	比 較	対前年度比
一 般 会 計	6,337,500	5,846,427	491,073	8.40%
国民健康保険特別会計	2,397,445	2,332,659	64,786	2.78%
後期高齢者医療特別会計	197,688	192,948	4,740	2.46%
介護保険特別会計	1,455,105	1,392,317	62,788	4.51%
下水道事業特別会計	918,341	998,668	△80,327	△8.04%
水道事業会計	359,553	457,180	△97,627	△21.35%
老人保健特別会計	－	443	△443	皆減
総 額	11,665,632	11,220,642	444,990	3.97%